

1. 略歴

| | |
|---------|----------------------------|
| 1986年3月 | 東京大学文学部美術史学専修課程卒業（文学士） |
| 1989年3月 | 東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了（文学修士） |
| 1997年2月 | フライブルク大学哲学部 Ph.D |
| 1997年4月 | 電気通信大学電気通信学部助教授（～1999年3月） |
| 1999年4月 | 東京学芸大学教育学部助教授（～2006年3月） |
| 2006年4月 | 東京大学大学院人文社会系研究科助教授 |
| 2007年4月 | 同上准教授 |
| 2011年3月 | 同上教授 |

2. 主な研究活動

a 専門分野

西洋美術史

b 研究課題

デューラーを中心とした中近世ドイツ美術、聖遺物と美術との相関性、イメージ（像）の生動性、比較宗教美術史

c 概要と自己評価

主として西洋中近世における教会宝物や宮廷宝物についての研究を、美術と宝物との相関性および宮廷における宗教文化を意識しつつ展開した。また宝物および宮廷に重点をおきつつ、比較宗教美術史的考察をも展開した。特に比較宗教美術研究に関して、海外研究者と意見交換する機会に恵まれ、台湾、アラブ、ドイツ等における国際会議等において研究成果の一定の発信をすることができたのではないと思う。また日本の聖地をめぐることにより、キリスト教における聖性概念について、新たな角度から考察する手がかりを得つつある。国立民族学博物館共同研究員として「物質性の民族学」という共同研究は2014年度で終了したが、その研究成果の発表に向けての活動は継続されており、自らの研究領域を相対化する機会ともなっている。こうした研究関心に応じた国際的な研究ネットワークが徐々に形成されてきている。なお、立ち上げから関わってきた全学の教育プログラム、体験活動プログラムおよび初年度長期休学制度（FLY プログラム）に協力を続けるとともに、2015年からは日本学術会議の連携会員として美術館・博物館委員会に所属し幹事を務めている。

d 主要業績

(1) 著書

共著、秋山聰、野崎敏（編集）『人文知2』、2014.12（秋山聰、「聖なる宝物—天と地をつなぐモノ」、pp.109-131; 「あとかぎ」、pp.225-227）

共著、G・ヴォルフ、M・ファイエツィ、秋山聰他、『Power of the Line』、Hirmer Verlag、2015、240pp. (Akira Akiyama, "The Sacred Footprint, examined from Comparative Perspectives", pp.96-105.)

(2) 論文

秋山聰、「西洋中近世のキリスト教儀礼における像と人との共演をめぐる—比較美術史的観点から」、『死生学・応用倫理研究』、19、pp.232-210.

秋山聰／京谷啓徳／木下直之／古谷嘉章／芳賀京子、「スペクタクルをめぐる」、『西洋美術研究』、19、8-36 頁、2014.12

(3) 学会発表等

秋山聰、「宮廷と美術：研究計画」、国際研究集会『東大教授と台湾美術史相關領域學者座談會』、台北、台湾大学大学院、2014.9.22

秋山聰、「デューラーの失われた傑作をめぐる—考察—《ヘラー祭壇画》」、明治学院大学芸術学科講演会、2014.12.6

秋山聰、「Icon or Relic? Comparative Studies on the Imperial Regalia」国際シンポジウム『Normadic Object: Early Modern Religious Art in Global Context』、アラブ首長国連邦、アラブ、ニューヨーク大学アラブ 2016.1.18～2016.1.20

秋山聰、「レガリアの比較美術史—帝国宝物と三種の神器」、研究集会『宮廷・宝物・美術』、九州大学大学院文学研究科、2016.2.20

秋山聰、「聖地から学ぶもの—比較美術史的考察」、研究集会『聖地と宝物』、九州大学大学院文学研究科、2016.2.22

秋山聰、「On the Relic and Iconic Character of the Sacred Objects – A comparative Art History Perspective」、国際シンポジウム『The Materiality of the Sacred in Medieval Japan and Europe: Buddhism, Shinto, Christianity』、ドイツ連邦共和国、ハイデルベルク、ハイデルベルク大学 2016.2.29～2016.3.2.

(4) 翻訳

共訳、ゲアハルト・ヴォルフ／フィリーネ・ヘラス、「Die Nacht der Bilder」、秋山聰（監訳）／太田泉フロランス（訳）、「1462年ローマにおける聖母被昇天の祝祭行列：二つのイコンが会おう夜」、『西洋美術研究』、18、37-53頁、2014.12

(5) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、秋山聰、研究代表者、「宮廷と美術に関する比較美術史学的研究」、2014～

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、青山学院大学、「西洋の宗教と芸術／芸術史特講（2）」、2014.4～

非常勤講師、國學院大學大学院、「西洋美術史」、2014.4～

共同研究員、国立民族学博物館、～2015.3.

(2) 学会等

美術史学会、常任委員、東支部編集事務局担、2014.4～

地中海学会、常任委員、大会準備委員会委員長、2014.4～

国際美術史学会（CIHA）日本委員会、事務局長、2014.4～

日本学術会議、連携会員、博物館・美術館委員会幹事、2015～